

# ひやく しやく かん どう 百尺竿頭

札幌市青少年山の家便り

第 11 号

平成 23 年 6 月 1 日 発行

札幌市青少年山の家食堂店長 藤谷 賢二  
(西洋フード・コンパスグループ株式会社)

## 野外教育施設における食育

札幌市青少年山の家では、野外活動を通して青少年の健全な心身を育成することはもちろんのこと、私どもの食堂でのバイキング食や野外炊事などをご利用いただくことを通して、ご利用される皆様に「食育」を学ぶ機会を提供させていただきたいと考えております。

「食育」とは、食材や食品、調理といった食べることにはじまりマナーや伝統といった「文化」さらには、自給率や国際的な食糧問題などの時事問題に至る「食」に関するさまざまな分野についての「教育」と言われております。

私事ですが、子どものころ我が家での食事は、家族そろって食べるのが決まりでした。仕事で遅くなる父親の帰りをみんなで待っていたことを思い出します。また、季節の行事やお祝い事のある時には、必ず家族団らんの食事があった事が懐かしい思い出です。そのような中で、食に対する意識が培われていったと感じています。

家族の形態の変化や生活習慣の違いなどにより、家族そろって食卓を囲んで会話をする機会が少なくなっている現代、是非私どもの食堂で「食育」について考えてみてください。



## 食堂バイキングで学ぶ食育

- (1) 食事についての決まり事(マナー)を守る意識
- (2) 団体行動を乱さない心がけ
- (3) 人の話をしっかり聞く姿勢
- (4) 他人の事を考える思いやりの心
- (5) バランスのよい食事による、体の調整
- (6) 食べることへの感謝の気持ち



野外炊事体験では「食べ物」ができる過程や作る楽しみ、友達と協力しあい、ひとつの物を作り上げることで豊かな感性を学んで頂きたいと思っております。

**[事業報告] 第1回自然観察ハイキング**  
2011年5月22日(日)実施

「春の滝野を感じるハイキング」をテーマに親子向けと大人向けの2コースに分かれて実施。定員40名のところ、満員御礼!! 70名の方にご参加いただきました。

1歳の幼児から70代の方まで幅広い年代の方にご参加いただき、参加者からは「ボランティアスタッフのガイドが楽しかった」、「新しい発見に繋がった」等、好評をいただきました。

今年度は季節ごとに実施予定。

次回は7月3日(日)です。皆様のご参加をお待ちしております。



楽しいこと“いっぱい”



山の家シンボルフラワー  
シラネアオイ



葉っぱのスライドショー



ガイドしていただいた総勢9名の  
自然観察ボランティアスタッフ

**[5月の利用者アンケートより]**

○子どもたちの成長の場となる活動ができました。

○備付設備が、中学生の宿泊利用に適していると思う。(テレビが無い、コンセントが少ない等)

▲ホームページについてプログラムの説明が丁寧なものと、資料が少ないものとの差が無くなるとういことです。

→各種活動プログラム資料の充実で、よりわかりやすいご案内ができるよう努めます。

▲寝具が不衛生に感じました。

→これまで同様、日々の点検の実施のほか、一斉クリーニング等回数を増やすことを検討し、清潔な環境作りに力を入れて参ります。

**【植物豆知識⑧：マタタビの不思議】**

みなさんマタタビという木をご存じですか? 実を食べると猫が酔うといわれるものですが、このマタタビの葉は6月頃の花が咲く時期になると写真のように色がつくのです。これは、マタタビの花がとても小さくて目立たないため、虫を寄せて受粉(虫媒花)を行うために葉を花卉のように見せかけているのです。植物も種を保存するため色々な工夫をするものですね。



『ミヤママタタビの葉』

(最初から、花を大きくすればいいとも思いますが・・・)



発行者：札幌市青少年山の家指定管理者 財)札幌市青少年女性活動協会  
住所 〒005-0862 札幌市南区滝野247番地  
電話 011-591-0303 FAX 011-591-0394  
URL <http://www.sapporo-yamanoie.jp>